

# 備前焼製手榴弾



©備前市歴史民俗資料館



©備前市歴史民俗資料館

2022年8月 人間国宝 故山本陶秀さんが戦中に製造した備前焼製の手榴弾(約400個、破片830個)、納品箱4箱が、山本陶秀さんの息子で陶芸家の山本雄一さんより備前市教育委員会に寄贈されました。

戦争間近になると、金属が不足し手榴弾の製造も厳しく、代わりに陶製手榴弾が軍部の要請で日本各地の窯業地で製造されました。備前に於いても窯元や各作家によって備前焼製手榴弾が製造されていますが、その全容はわかっていません。

戦争に利用される目的で製造された備前焼。戦時中の備前焼産業の一端を今に伝える資料です。歴史民俗資料館ではこのほかに、伊部にある窯元寄贈された備前焼製手榴弾や納品箱、個人蔵の清水焼や有田焼の手榴弾を展示・保管しています。

## ～びぜんレポート～① 井田

備前市伊里<sup>いた</sup>井田地区は、世界で唯一の区画を持つ田園地帯です。井田は、古代中国周代に行われていたという土地制度「井田法」に基づいて造られた水田で、儒教を熱く信奉していた岡山藩主池田光政は、津田永忠に命じて、寛文11(1671)年、伊里川河口に造られた干拓地に井田の区割りを完成させました(現在の上井)。さらに、光政の死後も井田の<sup>ふしん</sup>普請は続き、元禄元(1688)年、その南を新たに干拓し(現在の下井)、現在の井田の区割りが完成しました。

今でも航空写真を見ると、江戸時代に区画された「井」の形を見る事ができ、地元の方々によって、その一部の景観を保全する取り組みがなされています。



井田碑からみた井田



備前市歴史民俗資料館 れきみんだより No1  
発行日:令和4年7月  
編集・発行:備前市歴史民俗資料館

### 備前市歴史民俗資料館

〒705-0022 岡山県備前市東片上 385

TEL/FAX 0869-64-4428

<https://www.city.bizen.okayama.jp/site/rekimin/>

開館時間/9:00~16:00

休館日/毎週月曜日・祝日の翌日

入館料/無料